

絵 画 系

審 査 評

今回は WEB での審査という初めての試みでした。コロナ禍の影響がこのよう
なところにまで及んできたかと言う事で臨んだ審査であった。送られてきた画
像は同じ四角の中に並んでいた。見ているうちに少しずつ眼が慣れ一枚一枚の
作品が構図、形、色、そして、表現したい何かを感じとれてきて選んでいった。
同じような審査を日に2回繰り返しながらギリギリまで粘って選考した。フィ
ルターを通した中で作品の感性が伝わる部分を抽出出来たのではないだろうか。

さて全体的な総評として、具象、抽象問わず力作が多く丁寧な描写の絵が目
立ち、画面の隅々まで神経が行き届いている印象でした。中学生以下では伸び
伸びと主題を直截的に訴えている絵が目立っていて若い芽たちに今後の期待が
持てると思いました。上記制限のある WEB 上の審査であったが作品と直に向か
い合っただけで大きさ、素材、絵肌、作品から湧き出る息遣いを感じながら選べな
かったのが正直とても心残りであった。

(東亜大学教授 川野裕一郎)